

新編水滸畫傳

七編

四



21
875
64

神書佛書醫書國書
繪本手不新古賣買
手遊いふく活けり間
河内文了はふり士

後醍醐三休指西八

河内屋孫玄術

新編水滸書傳卷之六拾四

東武 高井蘭山翁

譯編

明治三十九年
十一月十日
講求

○宋公明兩多左尉と故

干爰又牛邦喜きんがうまたうぢくぢの官船くわんせん尽つく焼較やきくら口くちれらうとんてて水みづ中なか
飛入とびいり一命いっめいと脱だつ走しんとりし処ところ。一人ひとりの漢子わんし水みづ面おもて不あんんき出いで
牛邦喜うぢくぢと水みづ中なか抱落いだりおち。遂すなはちこれと縛しばりり。以もて漢子わんしの紅火べにび見みえ
張ちやう横ごうくく時とき安やす守しるる手てとと弟あにのことと弟あにのことと付つけられられら血ち水みづ滾あららととてて射とつつ
高たか直ちよくのこ光あき氣きなり。独ひとり党とう世せい英えいのこ小こ船せんをを糸いとでで逃にげれられられら右みぎ左ひだりより
のこびびくく小こ箭やとと放はなてて党とう世せい英えいとと射い殺ころす。その外ほか許あま多たのこ友とも守しるるとと水みづ
中なか射い落おち。散さんくく改かめめれられら常とこ傷や死し人ひとのこ教しやくとと知しべべくく以もてて事こと後あと
のこ別わかれれとと活いけれ張ちやう横ごうのこ牛うぢ邦くぢとと活いけれりり山さん陳ちんとと別わかれれとと

新編水滸書傳卷之六拾四



王瑾高大尉
媚て詔書と
讀替へん
勸し

るるを後記く曰く

制曰人之本心本無二端國之恒道俱是一理
作善則為良民造惡則為逆黨為逆黨者是非
正命深可憫焉朕聞梁山泊聚眾已久不蒙善
化殊復良心今差天使頒降詔書除宋江盧俊
義等大小人眾所犯過惡並予赦免其為首者
詣京謝恩從助者各赦鄉閭毋違朕意以負
汝懷嗚呼速霑雨露以就去邪皈正之心毋犯
雷霆當效革故鼎新之意故茲詔示想宜悉知

宣和 年 月 日

當時軍師兵用ハ除宋江と云二字と後小抄ノ即眩眼

花榮と記す軍今の二字とすのひし中と云らば花榮私に黥
刑書に小偏流りし如し花榮大者如くは中江と先しり
ぬ我輩朝廷は内吹し何の咎ありんと云らば花榮は打搦
彼勅使と望み漂と放らるれば其を悉く江門の中て勅使の
例れり法の豪傑ら一度お咄と叫り万誓存し放らるれば
高を辭大ひは流し高を城と跳ぎ善と避くる法政の如く
あまのふと引く城に入る城中の伏せたる安軍せんと争て
てお勢りお宋江が人を追うけ漸く六里をり此れ如く後軍
砲の如く大お響き東より急進歩軍と引く破て出ぬる娘
る軍と引く突て出ぬあ辺より夾み攻めれば安軍せんと
忙を城中引退く宋江が人を追うこと中途より引入るる

新編小治政傳卷之六十四

子よりぬきしつちかへん。彼軍遂に丸を死せる者多し。うらる。左尉も
 体におまじお未ど敵吹せし。しつちかへん。勅使と射教し。しつちかへん。表をぬき。胡
 廷よ奏す。しつちかへん。家書と使へ。茶を所と揚を尉と送。り。敵を
 茶が。為。しつちかへん。奏す。あつ。為。敵。と。名。越。あ。つ。一。世。の。喜。ひ
 け。率。か。ら。ぶ。しつちかへん。具。よ。軟。を。し。り。茶。を。所。の。密。書。と。は
 へ。子。速。系。因。しつちかへん。海。兵。の。と。妻。細。小。夫。を。し。り。天子。敵。笑。を。所
 懐。り。斜。ま。は。彼。賊。志。む。胡。廷。と。辱。し。め。果。り。小。大。飛。と。れ。上
 へ。急。ぎ。軍。を。と。遣。し。て。子。体。と。ゆ。け。し。り。勅。令。を。し。り。茶。を
 所。論。と。な。り。て。退。出。し。揚。を。尉。も。子。体。が。密。書。と。は。し。り。茶。を
 所。と。ま。後。し。て。所。長。の。因。お。致。し。り。兩。人。の。猛。將。を。遣。し。て。二。子
 の。急。ぎ。彼。を。人。よ。と。へ。し。り。子。体。と。ゆ。け。し。り。は。支。那。の。一。人。の。八。十。万

禁軍の教頭。安常。左義満。親軍。指揮使。護軍。右軍。丘岳。一人の
 八十万。禁軍。副教頭。安常。右義満。親軍。指揮使。車。護軍。周昂
 かり。は。あ。れ。軍。の。數。を。大。切。と。し。り。名。を。海。お。あ。し。り。武。を
 お。海。に。し。り。系。所。と。法。を。は。し。り。丘。岳。周。昂。の。系。所。を。体。が。ん。後。の
 人。かり。か。る。友。よ。出。陣。の。日。限。と。し。り。列。を。し。り。茶。を。所。が。領
 へ。致。し。り。茶。を。所。を。所。再。三。命。じ。て。云。汝。あ。れ。必。ん。と。判。ひ。し。り。子。大
 切。と。是。よ。汝。が。我。帝。小。奏。す。し。り。昇。を。か。し。り。し。り。無。意。と。勿
 れ。と。を。敵。お。作。る。支。那。護。軍。を。命。と。し。り。遂。お。別。れ。し。り。四。更。の。因。よ。茶
 り。法。軍。小。号。令。と。し。り。明日。出。陣。せ。ん。と。約。し。り。揚。を。尉。は。日。あ。れ。と
 私。を。小。招。き。茶。を。所。を。足。と。意。し。り。れ。が。支。那。護。軍。と。し。り。是。と。射
 必。じ。賊。を。彼。し。り。再。び。お。湯。を。し。り。と。し。り。辭。別。せ。り。翌。日。あ。れ。三。軍。お

新編水滸畫傳卷之六十四

福く美中ら小披掛しめ列二も小分く。丘岳の九軍を飲し周
昂の志軍を飲し。夜の上刻にや城中にお出されぬ。揚を射の自ら
城介お出く。あ物を送り法半らる。今いりるああ物命を交
揚を射お射れ遂お東京と離し海峽へと急ぎりり

○張順歎き海峽船と漏しむ

諸もさる射の海峽おまき。陣煥きと着候し。先兵船と造
しめ。再び梁山泊と改んと。さ速軍兵命い多く樹を
伐しめ。あし船大工水守おと募る。は時海峽の客屋お一人
の旗あり。宛てよく船と送る。京師の入りて姓を葉名
春と号し。向は若木より飯る。梁山泊の下とさし時。小旗を
件多知く。行末おと奪知し。ゆ急再び加は飯ると能は尚海

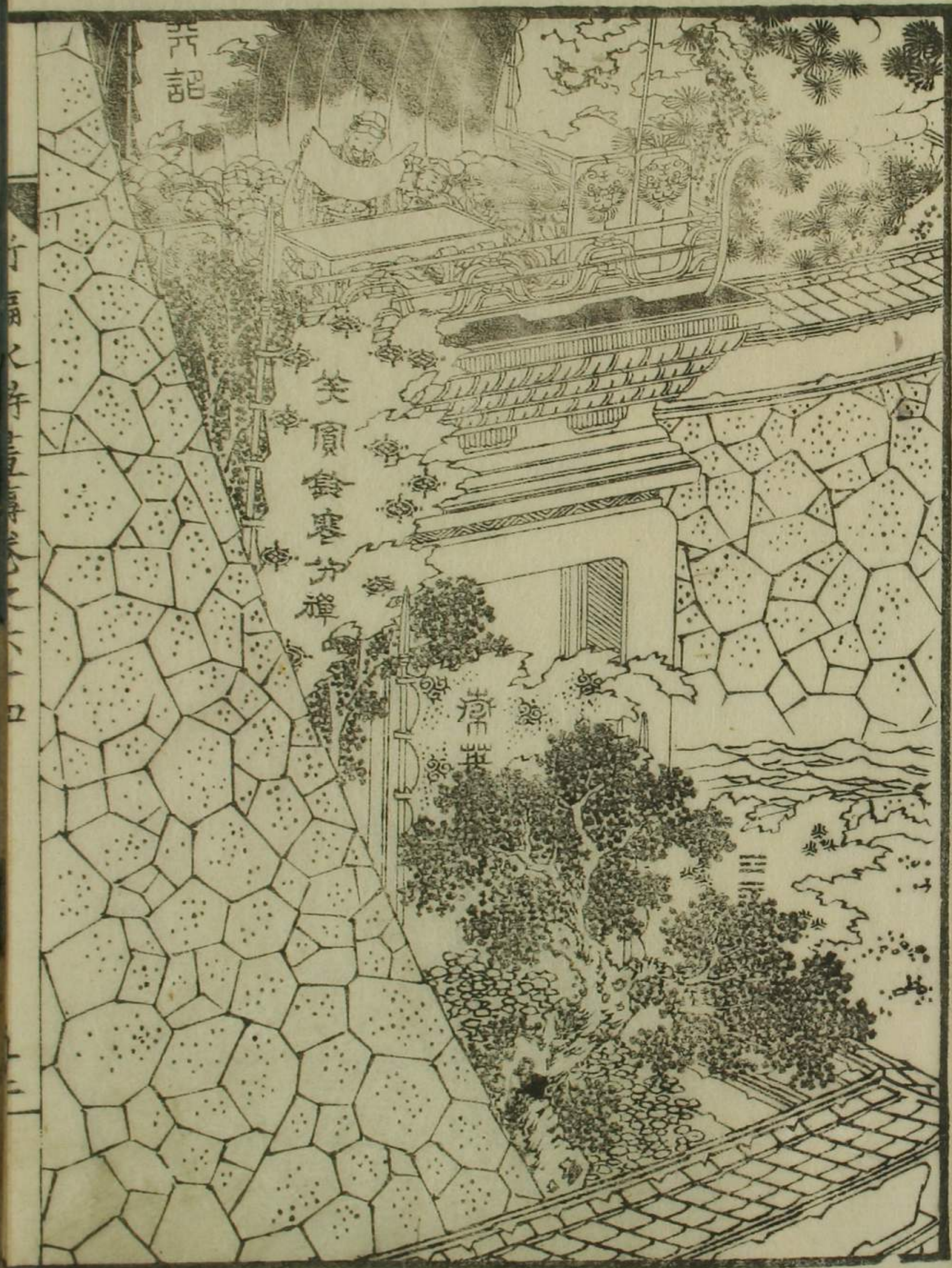
川お流落て。若く梁山泊と船在り。うげとびも射が船と送る
ととすく。は若木より梁山泊と改んと。飲し。船の果と出ては射し
又り。れがも射向く。は若木より梁山泊と改んと。飲し。船の果と出ては射し
とゆ。梁山泊と改りし。は若木より梁山泊と改んと。飲し。船の果と出ては射し
おあ。び。を退不自由なる。う急なり。ま一の計と飲し。揚を
ゆ。め。あ。せん。と。彼船の果と出ては射し。梁山泊と改んと
飲し。り。は。大船数百艘と造りし。め。は。大船の名と大海峽と
中。船のあ。迎。お。水。は。二十日人と。船の月。う。お。た。て。数。百。人。と。衆。若。後。右
た。う。の。令。竹。色。と。月。て。夫。衆。と。揚。船。の。面。よ。ら。擣。と。殺。け。く。夫。と。射
と。せ。若。進。ん。と。飲。さ。る。時。の。柳。子。と。お。く。お。果。と。は。彼。二十。日。人。の。水。お
擣。と。擣。せ。く。病。が。さ。く。ふ。走。し。む。り。け。の。さ。と。船。と。月。く。飲。と。攻。む

なごり猪利とゆぐんや又そこの船の名と小海嶽と申す船のあはれ
 は水子十二人と並船の上より従く百餘人と乗。前後左右の船は
 く竹色と用く矢着と痛む。船の吹入樓と役け。茶と飲むをま
 柳子とおくお茶と飲。け船の葉山泊の小港におも。城の伏兵と報
 むべ。おは針お後り。葉山泊の城使とま知ふこ。水泊と流るる
 んと。何の疑ふらん。言を耐けをと望。又船の身と入て板を斜に
 お速葉と並ね。急を船と造ら。む。ち。あ。り。り。樹木とは
 ら。き。を。敷。と。お。く。ら。葉。春。の。夜。急。ら。げ。數。百。の。船。と。造。り。け。る。
 法。法。品。よ。う。池。裏。る。水。軍。の。日。と。逃。く。多。う。り。り。の。船。り。知。ふ。丘。岳。周。昂
 人。と。引。く。判。官。一。ぬ。と。報。じ。る。れ。が。も。体。自。り。前。度。使。ふ。と。引。て。城
 と。丘。岳。周。昂。と。逃。へ。号。と。淋。し。遠。く。城。中。お。誘。引。し。て。種。々。答。復。し

うりりるあがぐを耐えに三軍を奪へて戦ひしめり人。も体が云あ
 ね軍。先。數。日。侍。り。入。海。嶽。船。今。引。り。な。げ。水。信。並。び。を。ん。ぐ。推。寄。作
 一。敵。も。城。と。平。ぶ。べ。丘。岳。周。昂。が。云。葉。お。あ。人。事。お。と。ん。と。引
 後。見。の。ら。い。ち。ぞ。及。ま。り。ん。や。も。体。が。云。あ。お。果。し。て。奇。切。と。立
 ら。ま。で。飲。宴。と。信。し。翌。日。より。高。古。耐。魚。信。使。し。て。船。の。な。く。船。と
 造。せ。り。り。村。の。船。お。異。用。ホ。と。も。強。し。と。云。り。ら。の。あ。度。ま。で。の。教。分。余
 魚。お。び。く。報。使。と。傷。ひ。並。飛。と。増。せ。り。必。ず。烟。廷。より。人。も。と。か。へ。て
 山。岳。と。報。し。め。り。ん。と。人。と。引。く。ま。の。虚。を。美。と。羅。り。め。ん。と。け
 日。小。年。と。き。り。り。小。年。ま。で。お。海。嶽。城。の。辺。お。流。し。要。知。と。伺。ひ。子
 遠。く。引。く。報。し。め。り。も。体。近。日。若。干。の。水。軍。と。募。め。又。葉。春。と。中

若小命也。大小の海賊船數百艘と遣せ。東系より又立岳周昂と
 中商人の猛將數子の人多と引て高俣とお助け近々奇事あり
 周旋せしむ。東江をさす。吳用と漢して云々。いけのどれ大船水
 面を浮んぐ自由と働が。これと打んと難うん。軍師高計と能
 しく人吳用笑く云。是の怖るあん。只數人の水軍隊に本
 て。敵軍と致るふ。是れり。漢江の合戦の報も。猛將多し。是又
 あり。小は。我あふ。是ホの大船と遣ん。必ず數十日と経べ
 一先一人の海賊と敵の船廠おき。傑と一悟。いや。ま。して。
 高計と能きべ。定む。可くと日。別時。近段系佐の女
 人と敵の船廠おき。張青。孫新と樹木と搜。民吏の取。お出立
 へ。船廠の周は。船を。入。又。大嫂。孫二娘と申。合の。致と。送る。婦

人お出立せ。時。近段系佐おと。脚けし。高計と交。即日。山とあり。
 亦。船廠と。と。能。り。高俣の。毎日。役。し。船と。遣。せ。済。民
 の。東。江。一。帯。の。船。と。成。ま。り。時。近。段。系。佐。先。船。廠。お。出。立。時。
 近。時。お。張。青。孫。新。と。對。し。云。孫。張。丈。暁。ハ。定。め。し。船。廠。お。出。立。と。致。つ
 べ。我。お。二人。は。け。知。お。出。立。を。待。て。城。門。の。辺。お。出。立。城。中。より。火
 と。消。ん。と。致。し。救。ひ。の。軍。士。出。ん。時。勢。ひ。は。急。し。と。城。内。は。船。を。入
 我。の。城。樓。の。上。より。火。を。放。さん。汝。と。高。計。切。お。出。立。と。致。す。然。ら。ば。こ
 亦。お。出。立。城。中。の。軍。士。大。ひ。は。孫。新。見。ん。堂。使。さ。り。な。り。汝。や。張
 青。孫。新。これ。と。交。し。高。計。は。張。青。孫。新。と。交。し。船。廠。お。出
 の。起。る。と。城。門。お。伏。し。と。待。て。び。び。り。張。青。孫。新。二人。は。済。民。の。城。下。お
 出。立。け。知。と。ん。り。四。百。の。民。吏。樹。木。と。搜。し。立。た。れ。張。青。二人。は

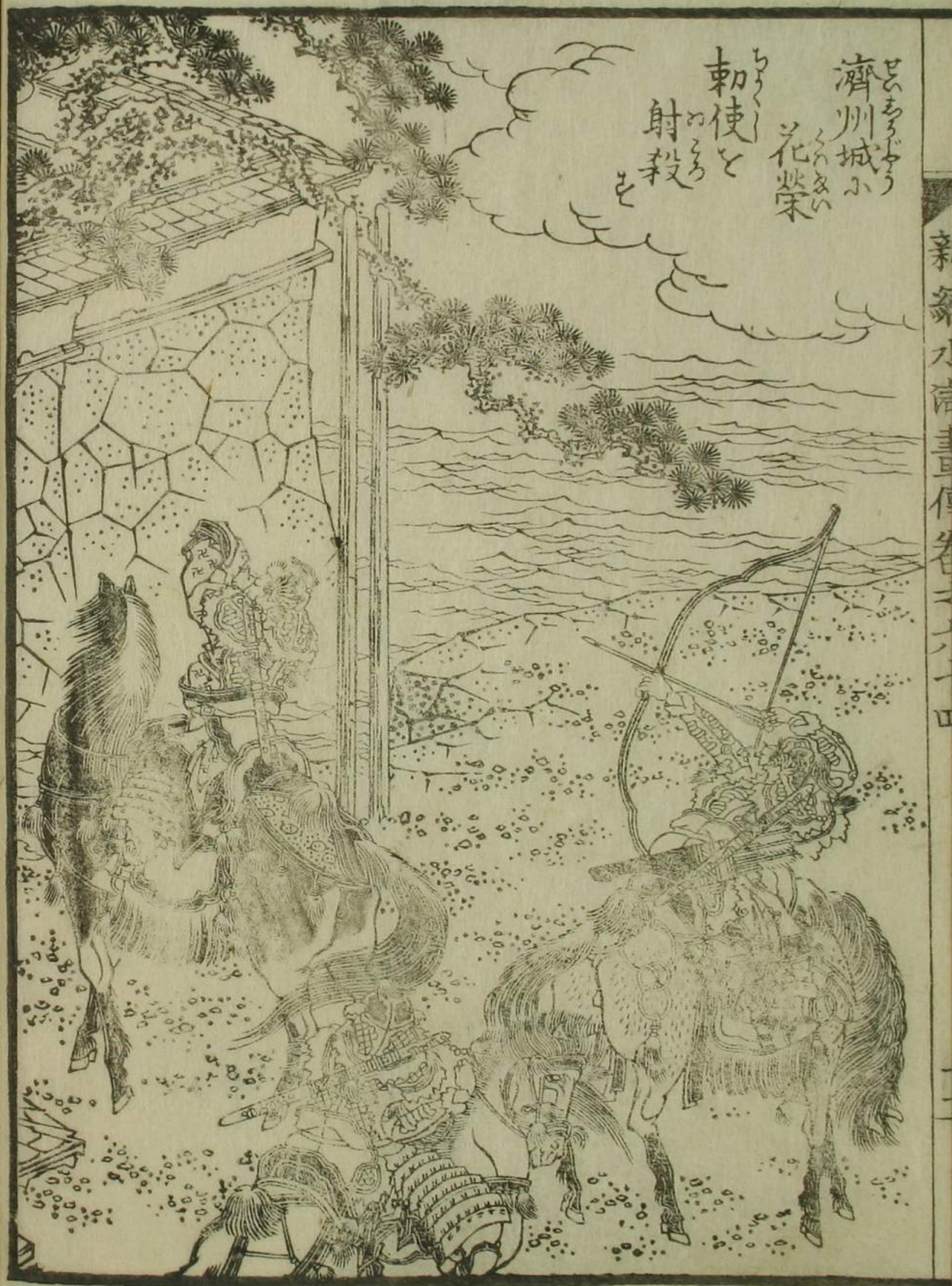


六詔

笑園會慶方禪

濟世

行藏元許畫傳卷之二十一



濟州城小
花榮
朝使と
射殺
を

新編八景畫傳卷之二十一

とゆんと必死なり。於いれ先葉まを賞せんとして。今浪版帛を以て葉春小恵をりれ。葉春憐む相好し。夜下と恨りたり。お五日を休半と幸ると殺し。香花燈燭と供く水練と祭。魚骨餅と以ひり。丘岳へる紙己ふ痛く。ん中お折れし。我張徳と生投てけう。こを管ごん。再び如く同くドと。法人の常とも憐む。誓と建て繕云しぬ。る休向より。勢より。妓女表子ホと船おのせ。吹流歌舞の戯れと修し。終日酒具入を。夜い妓女表子ホとを。お船中お歌をけり。お五日を又酒宴となし。一連よみ六日遊具を食く。未だお船の日泊も走りぬ。る如く。一人の軍士慌し。徳ある。梁山泊の城後。その侍と去く。湖及城の内なる。出神廟の門の上。おと。掲ねく。あうのと告ぐ。剣を侍と飲ぶ。るね。る休むてこれと

そのい

生擒揚猷與高休

便有海賊船万雙

掃蕩中原四百川

俱來泊内一齊休

言休を早て大お怒り。梁山泊の及城い。んぞかくのどく。人と歌く。や我り。賊と攻受するんが。誓て軍と回し。とて牙と咬む。り。これ。聞煥奉休て云。お尉怒りと息く。人。糸。魚。名。と。ぬ。く。これと。あ。ん。子。信。自。る。忠。懼。ま。る。目。急。却。て。無。云。と。ぬ。く。我。等。と。嚇。ん。と。あ。る。か。う。ん。高。四。の。日。色。一。あ。び。水。流。より。並。ひ。ま。ん。ぐ。攻。り。人。今。そ。の。天。氣。か。く。の。ど。く。喧。嘩。か。う。ん。刺。是。天。子。の。洪。福。を。尉。の。虎。威。に。多。休。け。云。と。笑。く。大。お。悦。び。遂。お。決。め。と。引。く。城。中。お。入。ぬ。く。も。分。と。是。め。ら。る。先。周。昂。王。煥。お。大。軍。と。引。し。めて。救。急。と。以。て。現。ん。法。張。完

中なるは改小二たなるは改小五右なるは改小七なり。は二兄弟合
 船と樓より甲と名くしれ六日景映しく輝きけり。友船の大船五
 岳徐系梅度三軍小中知し。火炮大棒大箭一度お放せられども
 三改ぶしも騒び船の改よ立たり。友船よりく近くありしと見
 三改呵しと嘆く水中小跳入り。五岳等三艘の空船と奪紅船
 ひも糸ト又二三里洋行し。又三艘の友船おきて漕来る。中なる
 船十餘人の軍士あり。は船の大船の王福羊孟原たなる船よりつ
 う四人の軍士あり。は船の大船の出洞蛟毒威なる船より。同く四
 人の軍士あり。は船の大船の翻江雲毒猛なり。五岳これとて。友軍
 船は火炮大箭と放せり。友船の水軍等。又水中は跳入り。五
 岳これと放し。又三艘の船とね。小具と流し漕行り。又三艘の

小船漕来る。右七八人の軍士あり。中なる船の大船八混江流毒渡た
 なる船の大船の船火兎張横右なる船の大船の浪裡白跳張船なり。は
 三船一はつらつら。汝賊友多くの船と我梁山泊お送り来る
 と我船と威怖おほむ。五岳三人の大船をばて大に怒り。射
 と撃へし射をせられ。友三改船系五軍お初り水中小跳入り。は時
 十一月の天来りし水面も吹くうらなれ。友船の水軍お。教く水中は
 入は只管殺す。と飛る。処に梁山泊の頂にお。お島の砲頼りふひ
 びらうぐ。盧葦池に処より。一千餘艘の小船一友小漕出。船下り
 又六人の軍士あり。友船どもをを戦りんとし。水底よみ
 と沈めし。水底と塞られ。友海緹船うらうら。まむと。只遠矢と
 射しけり。梁山泊の船より多く。快牌と用く。防ごられ。若小



水去
飛紳

俱

怒

高順
張順

中る者一人もなす。友軍の船己ふとづきし。知よ。梁山泊の水軍も。
撓物とひく友軍四五人水中に釣落しければ。友軍は是を以て
大に驚き。急ぎ船を退んとし。これ等。その迎のめは。や。亦。不。以。
て塞し。さ。其。び。船。と。知。以。と。能。以。遂。は。戦。と。始。し。知。よ。後。軍。の。船。
大。又。呼。び。給。動。は。も。を。耐。是。と。以。て。陣。換。事。と。さ。は。存。不。よ。し。ん。
と。せ。し。知。よ。甚。盛。草。の。肉。は。又。今。金。鼓。の。音。大。小。軍。を。友。軍。と。る。知。よ。友。
船。の。破。れ。く。水。勢。り。小。滾。入。り。れ。ば。法。船。の。軍。士。せ。一。度。ふ。呼。て。こ。
い。い。く。よ。と。慌。て。り。る。看。く。若。干。の。官。船。水。中。に。沈。し。く。梁山泊の小
船。せ。の。友。船。と。是。を。攻。撃。する。も。を。耐。え。れ。と。ん。て。げ。い。ひ。新。小。遣。り。し。
海。賊。船。何。由。急。ぎ。漏。や。と。志。の。吳。の。と。ふ。お。ひ。ひ。たり。是。則。水。軍。の。既。に。
張。順。の。下。の。水。軍。と。引。く。中。に。沈。え。撃。と。ひ。く。船。を。ふ。れ。と。擊。て。

①へかくのどく水滾入て友船おく沈たり。もを耐樓の上よよと
後軍の船と招き知よ。水急より一人の既沈れ出。も体が船の上
に沈より。我肯くを耐と救つんと。も体と救へく。せよ。水中に沈
入り。げ時梁山泊の小船もも漕あ。も体と船の上よ。引上。拾
も飛ぐ。い。小漕入。い。ぬ。今。も。体。と。捉。へ。く。水。中。に。沈。入。る。既。に。浪。程。
白。浪。張。り。張。吹。水。中。に。立。て。人。と。生。擒。は。魏。の。肉。と。探。し。撃。と。
知。が。く。く。げ。時。五。岳。の。親。方。の。陣。勢。乱。れ。と。ん。て。も。を。以。知。と。逃。い。
でん。と。急。り。り。る。知。よ。傍。に。あり。し。水。軍。も。一。人。の。水。軍。誰。出。也。
お。五。岳。と。言。て。擲。る。五。岳。と。只。親。方。の。水。軍。よ。て。と。あ。り。と。亦。
來。仲。の。し。を。立。し。る。も。を。携。え。及。以。遂。に。擲。れ。く。水。中。に。沈。
入り。げ。水。軍。の。別。梁。山。泊。の。既。に。張。豹。子。揚。林。なり。老。軍。より。友。軍。

未が同は終入くありくうども。丘岳をとりて改め殺さ
れりることを運の宛なり

○宋江を討つ

徐系梅展これとて。丘岳を殺し。水軍のり。親方の水
軍。おの。水軍。す。あ。と。か。し。と。あ。人。多。し。揚。林。小。吹。く。か。る。
二。よ。能。く。又。四。人。の。既。飲。一。日。お。出。く。揚。林。を。お。仰。く。一。人。の。白。面。郎。
君。鄭。天。壽。一。人。の。病。大。虫。薛。永。一。人。の。赤。虎。將。李。太。一。人。の。操。口。鬼。
曹。正。心。げ。口。人。老。軍。張。を。殺。す。を。と。く。徐。系。これ。と。て。款。一。が。
と。や。思。ひ。入。ん。と。水。中。小。船。入。り。必。よ。又。水。船。よ。人。を。と。逐。よ。
徐。系。と。活。投。り。り。薛。永。の。梅。展。と。陰。と。合。を。戦。ひ。り。り。又。梅。
展。と。柳。依。く。子。連。改。と。別。房。一。の。別。別。小。二。人。の。既。陰。と。柳。

柳ある。一人の赤服虎李。一人の金鎖豹子湯隆。一人の鬼臉児
杜良。依の節度使縦ひ三既。大臂ありと云。豈。よ。く。と。の。
既。飲。は。款。せん。や。系。宋。江。盧。俊。義。の。水。陸。よ。分。れ。て。戦。ひ。り。り。宋。江。
の。水。陸。と。合。り。盧。俊。義。の。水。軍。と。合。り。け。時。を。盧。俊。義。の。法。お。と。も。
よ。ん。と。討。く。山。前。の。大。将。よ。ち。出。款。の。之。後。周。昂。王。煥。お。と。逐。
へ。く。戦。と。相。む。周。昂。已。ふ。盧。俊。義。と。り。ん。と。あ。は。れ。ん。と。と。出。大。者。を。
小。味。り。買。り。り。り。の。波。及。滅。我。と。滅。我。と。や。盧。俊。義。これ。と。て。て。と。
と。怒。り。汝。滅。我。死。罪。お。小。と。知。り。け。し。と。大。云。と。吐。出。り。水。陸。我。
を。な。し。と。と。せん。と。陰。と。柳。く。る。と。確。せ。と。と。周。昂。小。柳。く。か。る。
周。昂。大。奇。と。尋。く。お。逐。入。遂。小。十。餘。合。戦。ひ。り。り。未。だ。猪。首。と。
か。と。さ。り。り。の。処。は。後。軍。の。友。友。大。は。乳。を。殺。動。け。系。宋。山。泊。の。大。

軍山前山後不埋伏し、く在りらば、此時己小城のありとあけ、密に
 出、四方より夾く攻め、東南より國務素明あり。西より林冲呼
 延灼あり。氏四大将の者、万夫不敵の勇ある家傑なれば、項元法
 張完歌一戦して、能く遂に海と逆し、逃す。周昂、王煥も
 又戦し、利を得ず。と痛く、海に城を逃入、先三軍と城
 中より、一り、相率、江の中戦と帯て、る、射と活投、らと受
 し、子、遠、敵、軍を、破、く、妻、り、は、皮、去、と、傷、ふ、と、な、れ、と、三、軍、は
 福し、ぬ、遂に山、跡、より、入り、密に、兵、用、公、孫、務、赤、旗、を、忠、義、堂、の、上
 へ、在、し、知、る、張、火、水、滸、く、る、身、体、と、さ、り、小、は、ひ、は、經、し、切、り、と、さ、り
 密に、引、立、り、し、く、六、密、に、慌、忙、と、さ、り、射、が、解、と、堂、上、は、投、
 け、上、射、と、翻、し、ぬ、と、さ、り、り、ら、ぶ、と、さ、り、身、体、と、さ、り、れ、と、還、え、し、け

れども、兵用公孫猪、親自、身、体、と、杜、け、め、密、に、が、ぬ、と、信、し、ら、る、
 宋江、己、小、を、射、と、ぬ、し、年、り、又、張、と、破、く、三、軍、小、福、ら、る、い、ま
 け、り、後、は、張、く、皮、去、と、殺、し、去、め、ら、ぶ、軍、法、は、後、く、射、と、射、ら、ん、と、嚴、に
 号、令、と、傳、へ、し、む、ら、ぬ、怨、ま、さ、威、を、極、め、徐、系、と、活、投、く、引、あ、る、葉、俊
 張、横、の、王、文、德、と、活、投、く、引、あ、る、楊、雄、石、秀、の、楊、温、と、活、投、て、引、あ、る
 る、二、改、は、身、の、事、後、吉、と、活、投、て、引、あ、る、鄭、天、壽、薛、永、の、李、忠、曹、正、ら
 徐、系、と、活、投、て、引、あ、る、梅、展、を、と、訣、と、楊、林、の、丘、岳、が、そ
 と、訣、と、活、投、て、引、あ、る、杜、真、の、葉、美、王、瑾、が、そ、と、訣、と、解、法、解、宣、の、安
 泰、孫、が、そ、と、訣、と、活、投、て、引、あ、る、お、り、し、く、老、と、を、は、唯
 彼、周、昂、王、煥、項、元、法、張、完、歌、四、人、の、こ、り、り、己、中、に、と、密、に、江、の、上、
 法、物、の、郷、と、解、く、ら、く、皆、さ、上、と、投、上、年、と、殺、し、る、と、密、に、さ、り、
 七十一

一々宴と役け。懇ま宴食。帝の盃と祝く。も耐子初と云らん。
 高う法人。帝の朝廷。小背くの。まの。と。根く。と。世と。遍く。
 色を。と。ま。と。知。あ。る。を。只。け。山。路。を。強。く。難。と。避。け。知。よ。毎。夜。
 天兵と。奪。く。工。改。し。あ。の。ふ。を。だ。と。と。得。ず。し。と。一。戦。と。あ。ね。ん。よ。
 友を。と。雨。敵。免。の。招。書。と。傳。へ。の。ひ。し。う。せ。奸。臣。中。ま。生。く。婦。と。わ。く。
 擅。小。我。帝。と。沮。く。朝廷。の。大。事。と。謀。り。伏。し。と。殺。る。を。耐。子。帝。と。
 憐。み。こ。ひ。と。救。ひ。と。重。く。人。の。心。教。免。と。あ。り。て。再。び。必。家。の。臣。と。わ。る。
 び。を。耐。の。子。具。死。と。ぬ。く。報。ず。べ。く。も。体。は。云。と。受。て。た。お。と。ん。
 く。法。改。免。せ。威。風。凛。々。と。し。く。臣。を。列。り。立。し。う。ら。も。体。中。中。は。
 へ。り。か。ん。是。り。の。忠。義。と。く。帝。へ。奏。す。し。所。教。免。の。と。と。知。ひ。

ちり。も。皆。官。小。遊。し。し。あ。を。く。せ。ん。と。何。の。難。と。あ。あ。う。ん。と。子。連。死。
 兼。し。し。う。し。う。帝。の。意。と。受。く。大。小。收。ひ。殺。毒。之。法。物。と。受。し。も。
 体。お。と。款。待。内。己。小。聞。小。あ。り。し。奴。も。も。体。を。と。輝。碎。小。及。び。う。
 も。体。深。山。泊。ま。敵。く。相。撲。の。務。負。と。な。ん。より。改。卷。よ。明。く。也。
 按。ど。う。通。俗。忠。義。水。滸。傳。小。葉。を。葉。と。列。し。の。雅。之。周。の。侍。国。の。
 名。姓。と。な。り。し。又。旧。書。小。葉。は。從。ひ。し。梅。展。の。薛。永。擧。侯。と。首。と。
 別。と。あり。末。小。四。段。飲。梅。展。と。生。擒。免。と。あり。是。の。四。人。徐。系。と。生。
 捉。と。云。と。張。り。し。し。四。人。鄭。天。壽。薛。永。葉。忠。葉。忠。お。付。の。名。を。名。之。
 梅。展。も。薛。永。が。射。し。の。名。を。よ。り。あ。や。ま。う。し。ま。る。べ。し。
 徐。系。の。活。捉。二。ヶ。亦。此。是。又。あ。や。ま。る。ま。る。べ。し。

新編水滸傳卷之六十四

